資料６

中期目標（案）に対する委員意見及び両市の考え方

知多半島総合医療機構　中期目標(案)	事前にいただいた各委員意見	意見に対する両市の考え方
前文 公立病院において医師・看護師等の不足、人口減少や少子高齢化の急速な進展に伴う医療需要の変化、医療の高度化といった経営環境の急激な変化等を背景とする厳しい環境が続いており、持続可能な…（略） **第１　中期目標の期間** 令和７年４月１日から令和 12 年３月 31 日までの５年間とする。 **第２　提供する医療サービスその他の業務の質の向上に関する事項** **１　提供する医療サービス** 機構は、運営する知多半島総合医療センターと知多半島りんくう病院が連携し、急性期から回復期まで切れ目のない医療を提供し、他の医療機関との役割分担・連携を図りながら、知多半島医療圏における中核医療施設として医療施策上必要とされる医療を担うこと。 **（１）救急医療** 知多半島医療圏内で唯一の救命救急センター（三次救急）を運営する機構として…	**（〇〇委員）** □□□

中期目標（案）に対するパブリックコメント及び両市の考え方

知多半島総合医療機構　中期目標(案)	パブリックコメントの概要	パブリックコメントに対する両市の考え方
前文 公立病院において医師・看護師等の不足、人口減少や少子高齢化の急速な進展に伴う医療需要の変化、医療の高度化といった経営環境の急激な変化等を背景とする厳しい環境が続いており、持続可能な…（略） **第１　中期目標の期間** 令和７年４月１日から令和 12 年３月 31 日までの５年間とする。 **第２　提供する医療サービスその他の業務の質の向上に関する事項** **１　提供する医療サービス** 機構は、運営する知多半島総合医療センターと知多半島りんくう病院が連携し、急性期から回復期まで切れ目のない医療を提供し、他の医療機関との役割分担・連携を図りながら、知多半島医療圏における中核医療施設として医療施策上必要とされる医療を担うこと。 **（１）救急医療** 知多半島医療圏内で唯一の救命救急センター（三次救急）を運営する機構として知多半島における救命救急医療の中核を担い、高度急性期医療を中心とした急性期医療を提供…	**（半田市・40 代・男性）** □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□と考える。 **（常滑市・20 代・女性）** □□□と考える。	**（両市の考え方）** □□とさせていただきます。 **（両市の考え方）** □□□を取り組むうえでの参考とさせていただきます。